

< 報道発表資料 >

令和 8 年 8 月 2 8 日

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

結核・呼吸器感染症予防週間（9 月 24 日～30 日） における取組の実施

結核は、今なお全国で新登録患者数が年間 9, 0 0 0 人を超える感染症の一つです。京都市においては、令和 7 年は 1 4 7 人が結核と診断されています。

厚生労働省では、毎年 9 月 2 4 日～3 0 日を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、結核をはじめとした呼吸器感染症に関する正しい知識の普及のため、普及啓発を実施しています。そこで京都市では、結核・呼吸器感染症予防週間にあわせて市民の皆様を対象に、結核健診（無料）等の啓発活動を実施します。

【概要】

● 結核・呼吸器感染症予防週間

令和 8 年 9 月 2 4 日（木）～9 月 3 0 日（水）

● 結核予防啓発の取組

(1) 結核予防啓発キャンペーンの実施

日時：令和 8 年 9 月 2 8 日（月）午後 2 時～午後 3 時 3 0 分

場所：イオンモール京都五条（〒615-0035 京都市右京区西院追分町 25-1）

主催：京都市、京都府、京都市地域女性連合会、一般財団法人京都予防医学センター

内容：検診車による無料結核健診（最大 3 0 名・事前申込み不可）、結核相談など

(2) 各区役所・支所 健康長寿推進課における啓発（ポスター掲示、チラシ等の配布）

(3) 結核啓発ポスターの作成と医療機関や関連施設での掲示

● 通年実施している取組

(1) 結核健康相談

各区役所・支所 健康長寿推進課では、結核の健康相談を実施しています。

(2) 胸部検診（結核・肺がん検診）【無料・事前予約制】

4 0 歳以上の市民を対象に胸部エックス線検査を実施しています。

※ 近隣の区役所・支所健康長寿推進課にお問合せください。

【参考】

1 結核早期発見のポイント

- (1) 咳が2週間以上続いたら、早めに受診しましょう。

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰、発熱などの症状が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

※ 高齢者の場合、食欲がない・体重が減った・なんとなく元気がないなど、はっきりとした症状がない場合もあります。

- (2) 定期的に胸部エックス線検査を受けましょう。

健康診断や職場健診、胸部検診を年1回は受診し、早期発見に努めましょう。

特に65歳以上の方は、毎年受診するよう感染症法に定められています。

- (3) 乳児のBCG予防接種は必ず受けましょう。

結核に感染した場合の重症化を防ぐため、生後1歳までに必ず受けましょう。

予防接種協力医療機関で接種可能です。

2 京都市の結核の状況（令和7年）

- (1) 新登録患者数は前年から5人減少しましたが、京都市の罹患率は全国と比較すると依然高い状況です。

年	京都市	全国
令和7年	147人（10.3）※	9,836人（7.9）※
令和6年	152人（10.6）	10,051人（8.1）
令和5年	154人（10.7）	10,096人（8.1）

（ ）内は罹患率（人口10万対） ※ 速報値

- (2) 新登録患者のうち6割以上は、65歳以上の患者と高い割合となっています。

65歳以上割合 64.6%

3 呼吸器感染症の予防のポイント

マスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心掛けましょう。

<お問合せ先>

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

電話：075-222-4244